



5月27日(土)。令和5年度運動会は、「赤組407点 白組546点」、予想を大きく翻したかのような白組圧勝の点差となりました。しかし、一つ一つの種目では、予想的中の大接戦の連続だったのです。運動会のフィナーレを飾る全校児童による「大玉送り」は、その象徴です。1回戦目は赤の圧勝。2回戦目は白。そして、3回戦目は、ほんのわずかの差(一番上の写真)で白が勝利をつかみ取りました。まさに、団体戦はこういった熱戦の連続でした。

4年ぶりに観覧制限なし。大勢の観覧者の前でのダンスパフォーマンスは、やはり魅せてくれました。また、「大玉送り」では、荃中7年生が放送係に飛び入り参加。見事な実況中継で競技を一層盛り上げてくれました。“企画外”の荃崎学園小中連携を実現しました。

※他の団体戦、ダンスは次号で詳しくお伝えします。

WBC準決勝、侍ジャパンをあと一步のところまで追い詰め敗れたメキシコの監督は、その試合を「野球界の勝利だ」と表現しました。そして、この令和5年度の運動会、まさに「荃崎二小の勝利」となったのではないのでしょうか。



1年生二人の代表による開会のことばから始まった運動会。校歌を高らかに斉唱しました。紅白の両旗がクロスして高らかに掲げられながら、6年生代表児童による誓いのことばが、力強くグラウンドいっぱいに響き渡りました。

蛍光色のオレンジTシャツのPTA本部役員さんたちを中心に、準備から後片付けまで保護者の皆様の強力なバックアップをいただきました。さらに、20名を超える来賓の皆様にご来校いただき、熱戦・熱演に大きな声援を送っていただきました。ありがとうございました。



デッドヒート満載、徒競走

あ!?撃たれました!

4年ぶりのトラックを回る徒競走。迫力満点。一人一人の順位がチームの得点となります。1・2年(赤64点 白60点) 3・4年(赤93点 白88点) 5・6年(赤80点 白78点)。徒競走終了時の得点【赤237点 白226点】

徒競走6年生男子最後の4人。雷管がバンッ!と鳴った。「あ!?撃たれました!」4人の6年生は入念なりハーサルを行っていたとか。一方、4年生放送係は、“異変”を察知した係担当張替先生から指示を受け、この絶妙のアナウンス。「主演男優賞」「ナイスアナウンス賞」をここに賞します。